

## 皮膚科外来でストーマ外来を行った経験から

東京慈恵会医科大学附属第三病院  
二宮友子

## 附属病院でのストーマ外来の歴史

1998年

皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCナース）の活動開始

2001年

外科外来でストーマ外来を開始

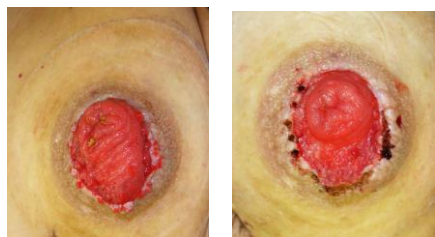
2002年

院内で褥瘡委員会が設置され、皮膚科の上出医師が委員長に就任。WOCナースも委員となる。筆者が外科外来、皮膚科外来の師長となり、皮膚科医にもWOCナースが認知される。

2004年

乾癬の治療機器を設置するための皮膚科外来の分室を別フロアに拡張。名称を**スキンケア外来**とし、WOCナースの活動拠点としての機能も付加された。外科外来からストーマ外来を移転することとなった。

### 炭酸ガスレーザーを用いたストーマ周囲の肉芽治療 処置の実際 1



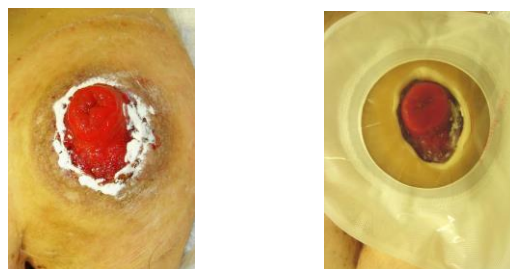
S上結腸癌  
結腸ストーマ  
術後5年経過

1. 照射前

2. 炭酸ガスレーザー直後

2007年ストーマリハビリテーション学会総会  
ストーマ周囲の腸上皮化生を伴う過剰肉芽に対する炭酸ガスレーザー治療 上出良一

### 処置の実際 2

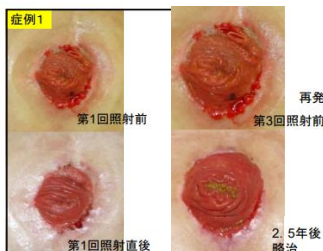


3. 出血する場合はアルギン酸塩フォームを押し込み、その上から粉末状ハイドロコロイドを散布する

4. 蒸散部分が覆われるように、面板の口径を縮小して貼付する

### 横行結腸ストーマ

上腹部・正中創内に造設している。ストーマの高さは低く、0時、6時に縦方向にくぼみが発生し、もれやすく管理困難。びらんを繰り返すため、肉芽が再発。



・管理のしやすい位置での造設や創や瘢痕との距離は、管理の困難さを左右する。

・皮膚障害を起こさないストーマ装具の選択と、ケア方法の確立が、肉芽の再発に大きく影響する。

## 細菌性皮膚炎のケア

抗真菌剤のローションで対応



皮膚科外来には顕微鏡があるため、菌の有無をその場で確認でき、適切な外用剤を選択できる。

また、院外処方を持たずに、外来の薬剤を使用し、装具を貼付して帰宅することが出来る。その際に、適切な塗布量や、塗布範囲等を指導できる。

## 接触性皮膚炎のケア



14日後

70歳代 ハルトマン術後1年後  
既往 腎不全 透析中

リドメックスコーワローション（マイルド）が処方

体重減少を理由に腹壁にしわが発生。装具の密着が得られず、装具を変更した。変更後に面板貼付部に一致した発赤、びらんを生じ、皮膚炎発症

## ステロイド軟膏の長期使用による皮膚障害



ハルトマン術後5年  
面板による接触性皮膚炎  
→リンデロンVG軟膏が処方され、治癒と悪化を繰り返した。  
患者は軟膏で密着が得られないため、ガーゼを小さく切り、軟膏塗布部位に重ねて使用していた。



ステロイド軟膏の中止と装具変更で治癒に至る

## 面板貼付部には 軟膏よりローションタイプを選択する



可能な限り少量を塗布する：

通常、皮膚に塗布する場合は、こすれたり、汗や手洗いで薬剤が減少するため**1日に2回塗布する**。一方、**面板貼付部は、薬剤を塗布後、閉鎖環境になるため、薬効が強くなる可能性がある。かなり少量の薬液でも、効果を実感できる。**

## 面板貼付部への外用剤の塗布方法 (ストーマモデルを用いて)



極々少量を幹部へ塗布

しっかり乾燥

さらに押し拭き

ステロイド  
使用時の  
患者指導

短期集中！  
症状がおさまったら、使用を中止する！  
予防には、使用しない！

## 皮膚科外来でのストーマ外来を経験して

### 外科外来で皮膚科への相談事例が発生したとき

- 皮膚科外来の受診調整
- 順番が来るまで装具を貼らずに患者をお待たせ
- 腹壁を不織布等で押さえながら患者が移動
- 患者に「今日は時間がない」と言われれば、後日の皮膚科受診を調整していた

### 皮膚科外来でのストーマ外来は

- ストーマ周囲肉芽の処置を炭酸レーザーを用いて行った
- 顕微鏡があり、その場で菌の有無が判定できる
- 皮膚科外来には、多種多様な外用剤があるため、処方される外用剤をその場で使用し、装具を貼付できる。使用量や塗布する範囲を具体的に指導することが可能
- 外科的な晩期合併症を認めた時は、外科外来へ患者が移動する

## 皮膚科医とのコラボレーション（まとめ）

- 皮膚科外来でのストーマ外来を経験した
- 皮膚科外来という環境面でのメリットはあったが、皮膚科医との関係性の構築により、様々なアイデアや考え方のアドバイスを得ることができた

### 現在は。。。

- 昨年の新外来棟の建築により、ストーマ外来は、本来の外科外来の中に移動
- 大腸の専門医師の隣の診察室を確保し、主治医の診察に合わせられるよう、連日ストーマ外来を開催
- ステロイドの外用剤をWOCナースが管理し、薬剤の塗布指導を実際におこなえるように工夫をしている